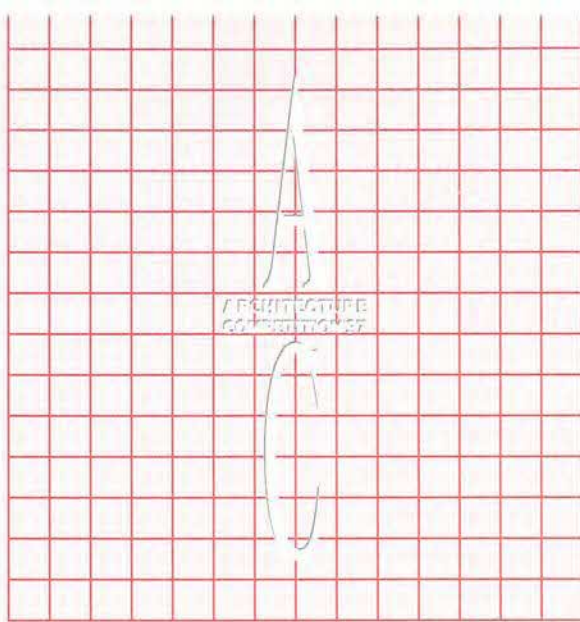




ARCHITECTURE  
COMPETITION'97

平成9年度  
高校生建築  
デザインコンクール

課題「交番」



### ごあいさつ

21世紀を目前にひかえ、人々の価値観が物質的な豊かさより心の豊かさを重視する傾向にある状況の中、公共建築物もゆとりやうるおいを備えた、誰にでも親しまれる施設とすることが求められております。

北海道では、道民に愛され親しまれる公共建築づくりを進めていくため、次代を担う建築技術者となる道内の工業高校の生徒からアイデアを募集し、「高校生建築デザインコンクール」を昨年度から実施しております。

2年目を迎えた今年度は、前回は大幅に上回る99作品の応募があり、中にはグループで制作した作品もあるため参加者総数は148名にも及びました。

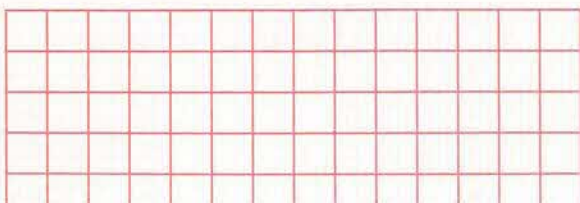
このコンクールが着実に定着してきたことを心強く思うとともに、建築を志す高校生の勉学の励みにしていただければ幸いです。

最優秀に選ばれた作品のアイデアは、北海道警察本部において設計に採り入れられる予定ですが、このほかにも夢のある素晴らしい作品が数多く寄せられたことは、公共建築に対する関心の高さをうかがい知ることができ、私ども公共建築に携わる者として大変喜ばしく思い、今後もより良い施設づくりに一層努力してまいりたいと考えております。

終わりに、本コンクールの実施に当たり多大な御協力を賜りました学校関係各位に厚くお礼申し上げますとともに、御応募いただいた皆様方の今後の御活躍をお祈り申し上げます。

平成10年2月

北海道建設部参事監 遠藤 禎一



## コンクールの概要

### ● 課題「交番」

- 設計条件
  - 建設地 足寄町(予定)
  - 建設敷地 平坦地 方形 約450㎡
  - 用途地域等 第1種住居地域
  - 容積率200% 建ぺい率60%
  - 建築基準法第22条区域
  - 施設内容 ①住宅併置交番 木造2階建 1棟 延べ床面積約180㎡
  - ②車庫兼物置 鉄骨造平屋建 延べ床面積約20㎡

- 提出図面 JIS規格A2判1枚に下記の全ての図面を描く
  - ・設計主旨・配置図(1/200)
  - ・平面図(1/100)・断面図(1/100)
  - ・立面図(1/100)・スケッチ・建築概要

- 応募資格 北海道内の工業高校の建築系学科に在籍するもので、個人又は5名以下のグループ

- 応募状況 応募総数99点

- 審査経過
  - 第1回選定委員会 平成9年6月24日
    - ・募集要項を審議、決定
  - 募集要項配付 平成9年6月27日
    - ・各学校を通じ配付
  - 作品受付 平成9年9月22日～26日
    - ・各学校を通じ応募
  - 第2回選定委員会 平成9年11月5日～6日
    - ・最優秀作品賞1点、優秀作品賞3点、佳作4点、特別奨励賞7点を選出

### ● 選定委員

- 委員長 百島 秀二(北海道建設部建築整備室建築課長)
- 委員 石山 幸雄(北海道警察本部総務部施設課警備調査官)
- ” 佐藤 俊(北海道教育庁生涯学習部高校教育課産業教育指導班主査)
- ” 清水 勲(北海道環境生活部文化・青少年室参事)
- ” 清野 亮一(北海道建設部まちづくり推進室まちづくり企画課長)
- ” 脇田 宏行(北海道建設部建築指導課長)

### 審査のポイント

- 高校生らしいユニークさにあふれているか
- 完成度とは別に、十分に考えられた案であるか
- 設計の狙い(コンセプト)、デザインに魅力があるか
- 実現は難しくとも夢があるか
- 立地条件を活かしているか



## 高校生建築デザインコンクール 選定委員会委員長

北海道建設部建築整備室建築課長 百島 秀二

このコンクールも2年目を迎え、今年度は前回は24点も上回る99点の作品が寄せられました。

これは、今回の課題「交番」が、高校生にとって身近にあって、日頃から見慣れた施設であるため取り組みやすかったことであろうかと思いますが、それ以上に公共建設への関心の高さを示すものと大変喜ばしく思っております。

課題の「交番」は足寄町の現施設の老朽化に伴い建て替えるもので、事務所部分のほか警察官の家族が生活する住宅部分を備えた住宅併置交番です。公的部分と私的部分の一体化という難しい問題を抱えており、各作品に苦労のあとがうかがえました。

選定委員会は11月5日、6日の2日間で、①高校生らしいユニークさにあふれているか、②完成度とは別に、十分に考えられた案であるか、③設計の狙い(コンセプト)、デザインに魅力があるか、④実現は難しくとも夢があるか、⑤立地条件を活かしているかをポイントに、最優秀作品賞1点、優秀作品3点、佳作4点、特別奨励賞7点を選定しました。

最優秀作品賞の秋元伸幸君、岡田孝平君(グループ応募)の作品は、「大人にも子供にも親しまれる交番」を設計主旨とし、足寄町の自然にちなんだ木をイメージした外観や、ラワンブキを模したベンチなど、メルヘンチックなデザインが印象的で、高く評価されました。

また、平面の配置計画も無理なく納まっており、事務所とコミュニティルームは明るい雰囲気になるよう自然採光を多く取り入れたり、身障者の方にも対応できるようスロープ等を設けるなど、随所にゆきとどいた心配りがみられました。

優秀作品賞の渡辺祐二君の作品は、1階、2階の両方にトップライトを採り入れたユニークな提案で、ガラスブロックを使い柔らかい光を採り入れるなど採光面での工夫もみられた優れた作品です。

優秀作品賞の篠原裕介君、東照之君、田島博光君、野崎兼太郎君(グループ応募)の作品は足寄町のイメージを「森林に囲まれた町」とし、建物全体を大木にすることによって「地域を守る交番」と「町を守る木」を結びつけたコンセプトがしっかりしており、図面の完

成度も高いバランスのとれた作品です。

優秀作品賞の曾我玲香さんの作品は、ラワンブキを建築物の全体イメージとし、「交番」の固いイメージを曲線を使うことで柔らかく表現しています。

足寄町の町名に「足」が付くことにこだわり、「自然に足が寄る交番」として、ヒグマ、エゾシカ等の足型を道路からコミュニティルームまで敷き詰めたアイデアも高校生らしくユニークで、バリアフリーにも配慮した機能的で使いやすい作品です。

このほか、佳作や惜しくも入賞を逸した作品の中にも、素晴らしい作品が数多く見受けられ、当初予定していた各賞のほか、選定委員会において特に努力や工夫が認められた作品7点に特別奨励賞を贈ることにしました。

全体として、足寄町の地域特性を活かした夢のあるデザインの個性あふれる力作が多く、建築を志す若者の熱意が感じられ、近い将来、北海道の建築デザインの水準が一層向上することが期待されます。



### 設計主旨

この交番は、大人にも子供にも親しまれるよう設計しました。

外観は、自然豊かな町「足寄」にちなんで大きな木をイメージしてみました。アプローチにはほぼ実物大のフキのベンチもあり、お年寄りや子供たちが楽しくくつろぐことができます。

交番の事務所、コミュニティルームは明るい雰囲気になるよう自然採光を多くとりいれました。

身障者の方にも対応できるようにスロープ、手すり、身障者対応のトイレ、駐車スペース等も設けています。

住宅部分は、余裕のある階段幅、屋外デッキ、家具コーナー等、ゆとりのある生活空間をとりいれました。

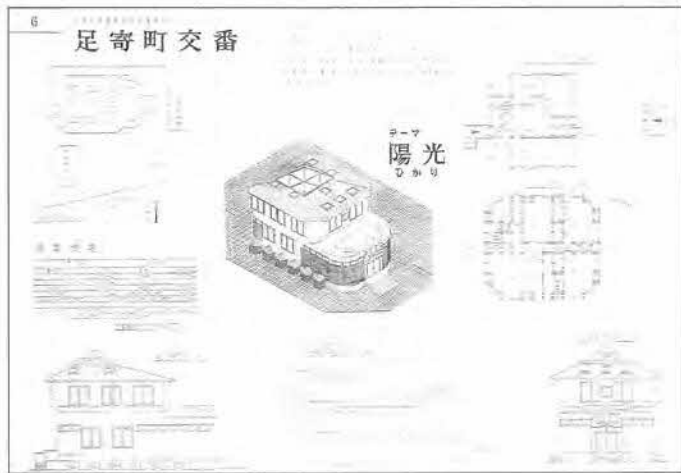
足寄交番は従来の交番のイメージを変え、人々が気軽に立ち寄れる、地域に密着した交番になることでしょう。

秋元 伸幸 岡田 孝平(グループ)

函館工業高等学校 3年

渡辺 祐二

室蘭工業高等学校 3年



設計主旨

交番の役目を果たす1階では、警察の方や町民の方々が活用します。プライバシー等を考えてガラスブロックを使い、柔らかい光を多く取り入れるようにしました。住宅部の2階では、窓・天窗を多く取り付け、最上部には大きなガラスをはめ込み、光を取り込む様に設計しました。

篠原 裕介

東 照之

田島 博光

野崎 兼太郎

(グループ)

北見工業高等学校 3年

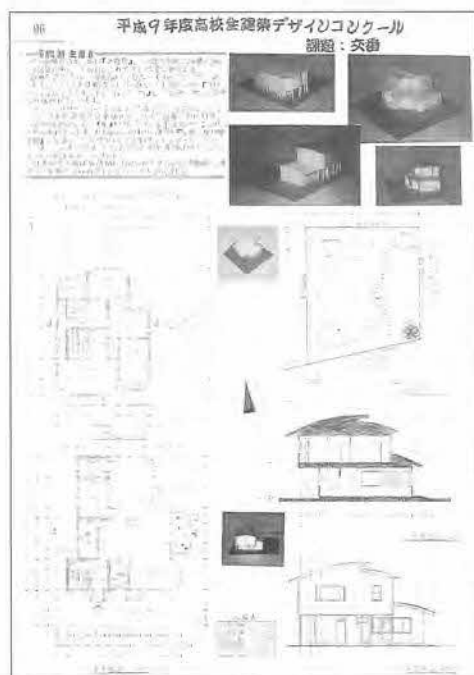


設計主旨

私達は、足寄交番を設計するにあたって、足寄のイメージを「森林に囲まれた町」とおき、建物全体を大木にすることによって、「地域を守る交番」と「町を守る木」を結びつけました。「大木=たくましい・警察=頼もしい」という類似的なイメージも結びつけました。足寄の町のアクセントとなってくれればいいと思っています。

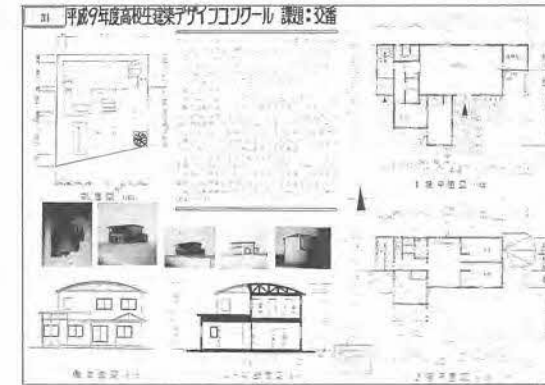
曾我 玲香

帯広工業高等学校 3年



設計主旨

町の面積が日本一広い「足寄町」。この町の交番は国道に面して交通量が多く、人の目にふれやすい位置にあります。面積だけではなく、特産品として日本一大きいラワンブキもあります。ラワンブキは樹木のように高く、アイヌの人々に「コロボックルはフキの葉の下に住んでいた」と、コロボックル伝説が語り継がれてもいます。そこで、コロボックルのようにフキの葉の下に住めるようにラワンブキを建築物の全体のイメージとして屋根に用いました。足寄町では町名に「足」が付くため、足型採取や足並みサミットが行われています。私も足にこだわり、誰でも「自然に足が寄る町」の交番としてヒグマ・エゾシカ・キタキツネ・エゾライチョウ・ベヘモトプス(の化石)の足型を道路よりコミュニティルームへ敷き詰めってみました。国道側の玄関は緊急時に駆け込みやすいように自由扉にし、車椅子でも楽に入られるようにスロープを設けました。



設計主旨

今回、足寄町交番の設計ということで、まず、設計のイメージとして屋根は足寄町の特産であるラワンブキを表現しました。足寄町で有名なものに、アイヌ語で「フキの下に住む」という意味のコロホックという小人がいると聞き、私の設計したこの交番も足寄町民にとって、コロホックが住むような親しみ深い場所であってほしいという願いをこめて設計しました。内部の設計では、特に1階部分の動線計画を綿密に立て、緊急事態であってもすぐに出動できるよう考慮しました。現地に実際に足を運び、自らの目で現場を見て、道路状況を考慮した上で駐車場の位置をできるだけ、出入りしやすいように配置しました。また、細かい部分でも2階のベランダが交番の出入り口から見えないよう住宅部分のプライバシーが守られるような構造にしたり、バルコニーの手すりなどの細部、いたる所にラワンブキを表現した形を取り入れるなど小さな部分にも細かく気を配って計画してみました。南側に多くの窓をもつ交番内は採光もよく明るい空間に仕上がりに、「交番」の持つ強いイメージをやわらげ市民の良い憩いの場となってくれば幸いです。

山崎 友理 渡辺 幸恵

向山 奈美 (グループ)

帯広工業高等学校 3年

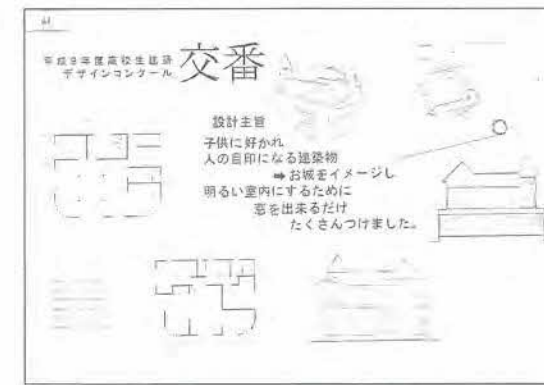


設計主旨

私が今までに見た交番のイメージは「暗く閉鎖的な所」です。その為、以前から同じ場所にあるのに、いつまでも近寄り難く、地域になじむことができません。2つの悪い印象の1つである「暗い」については、事務室1の天井を高く、そして大きめのトップライトを設けることによって、光を多く採り入れられる様にし、又、「閉鎖的」を改善する為、玄関アプローチを道路に近付け、人々が始めの一步を踏み出しやすい様にしてみました。それと併せて、屋根の1/3を骨組だけで形づくり「中を見せる」ということを強調させました。内壁は、八角形を基本とした外壁に平行なものと外壁の対角線の交点から放射状に配置したもので構成してあります。

大沢 明子

札幌工業高等学校 3年



設計主旨

子供に好かれ人の目印になる建築物→お城をイメージし、明るい室内にするために窓を出来るだけたくさんつけました。

小西 久美子

苫小牧工業高等学校 3年



設計主旨

外観は、日本一大きいフキであるラワンブキをイメージしました。正面に巨大なラワンブキが空に向かって立っており、町のシンボリック的存在です。ラワンブキのモニュメントの後の屋根は山を表しています。ふれあいの場のコミュニティルームは、吹き抜けのガラス張りになっており、明るいオープンな雰囲気です。このラワンブキの交番は、交番と町民が一体となり町にとけこんだ「やさしい交番」です。

寺井 由美子

函館工業高等学校 3年

# 平成9年度高校生建築デザインコンクール 応募者一覧

## 特別奨励賞



### 設計主旨

警察のシンボル「旭日章」を基本にイメージやデザインを大切に表現しました。  
外観は五角形に半円を合わせることで曲線の持つ優しさ、温かさを強調させ、屋根は星(旭日章)が天を指すことにより向上を表し、鋭さ、美しさ、高さを強調し、街のシンボル、そして地域のランドマークとしての役割を果たすように提案しました。

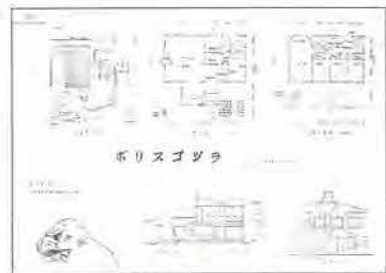
**涌島 由佳**  
札幌工業高等学校 3年



### 設計主旨

屋根の上部に信号機をイメージしたライトを設置して遠くからでも交番とわかるようにし、また、コミュニティールームは地域住民が気軽に相談しやすいように道路側に隣接するように設計しました。

**神田 秀幸**  
留萌工業高等学校 3年



### 設計主旨

化石の町足寄に生きた化石ゴジラを招いた。

**金子 俊晴**  
小樽工業高等学校 3年



### 設計主旨

我々は、町民のみならずにとって交番が気軽に立ち寄り、さらにふれあいの場になればとの想いから、この足寄交番を設計しました。  
この交番の外観イメージは、町民が一目で交番であるとわかるようにパトカーをベースとしました。建物の外観ラインは、曲線が多く用いることにより警察の堅いイメージをなくし、柔らかいイメージを出しました。建物の外観の装飾としては、交番正面にあたる東面の壁に、パトカーのタイヤを表現するためブロックを用いました。また、屋根は、赤色灯をイメージした天窓を設け、2階の住居部分に自然の光が入るように考慮しました。建物の内観は、事務所、仮眠室およびコミュニティールームの隅角部に、ガラスブロックを設けることにより、開放的な空間としました。ホールは、天窓及び吹き抜けとし、開放的なものにした。

**佐藤 圭一 藤井 大介**  
**荒島 直也 須貝 公一**  
**熊谷 和明 (グループ)**  
北見工業高等学校 3年



### 設計主旨

地域性を生かし、一本の木から林、森へをメインテーマにこの建物を計画しました。  
平面計画 敷地内の一本の木を中心に建物も木の形を模してデザインしました。  
立面計画 手前の木、回廊の林、建物を森と見立てて計画し、素材や色彩も自然のものを多く取り入れて計画しました。  
配置計画 既存の一本の木を中心として、前庭を芝生とし、緑を多くしたくつろげる空間を作りました。また、屋根のある回廊には掲示スペースを多くとり、地域で有効に利用できるように計画しました。

**伊藤 修一**  
美唄工業高等学校 2年



### 設計主旨

私は、今回交番を設計するにあたって、地域の人々の安全と、平穏な生活を守るための交番をイメージし、その中でも、町の人々が気軽に立ち寄り、町の中にとけ込んだ交番を考えてみました。  
足寄という地形、気候、風土、そして、住宅との併置交番であることから、近代的な建物より、交番でありながらも住宅に近い形で人々との距離を近づけられる「安心感のよりどころ」となるような、交番施設を提供します。

**川田 由香里**  
名寄工業高等学校 3年



### 設計主旨

町民が気軽に訪れることができるような優しいイメージを少し丸みを持った建物にしてみました。壁はレンガ仕上げを用いました。内部は、機能的にするために、より使いやすい配置にしようと考え設計しました。

**嵯峨 祐太 瀬戸 響**  
**前田 茜 山口 和哉**  
**秋場 健介 (グループ)**  
旭川工業高等学校 3年

### 《札幌工業高等学校》(18作品20名)

- 涌島 由佳 (3年) 【特別奨励賞】
- 松浦 宗仁 (3年)
- 俵 実 (3年)
- 目黒 拓哉 (3年)
- 津田 千晶 (3年)
- 中村 圭児 (3年)
- 樋口 みどり (3年)
- 野崎 祐也 (3年)
- 佐藤 大介 (3年)
- 大谷 茂夫 (3年)
- 小池 直世 (3年)
- 大沢 明子 (3年)
- 中川 知子 (3年)
- 出口 徳子 (3年)
- 山田 高敏 (3年)
- 鈴木 暁嗣 (3年) (3名グループ)
- 岸本 光晴 (3年)
- 賀野 琢磨 (3年)
- 高橋 敏明 (3年)
- 佐藤 めぐみ (3年)

【特別奨励賞】

【佳作】

### 《函館工業高等学校》(4作品5名)

- 小田 美香 (3年)
- 新栄 美智世 (3年)
- 寺井 由美子 (3年)
- 秋元 伸幸 (3年)
- 岡田 孝平 (3年) (2名グループ)

【佳作】

【最優秀作品賞】

### 《小樽工業高等学校》(1作品1名)

- 金子 俊晴 (3年)

【特別奨励賞】

### 《美唄工業高等学校》(3作品4名)

- 湯浅 卓監 (3年)
- 斉藤 和幸 (3年) (2名グループ)
- 伊藤 修一 (2年)
- 佐藤 のぞみ (3年)

【特別奨励賞】

### 《旭川工業高等学校》(8作品38名)

- 阿部 憲和 (3年)
- 多田 公明 (3年)
- 藤原 和也 (3年)
- 遠藤 昌弥 (3年)
- 平原 亜希子 (3年) (5名グループ)
- 大杉 武史 (3年)
- 谷川 秀明 (3年)
- 倉部 浩司 (3年)
- 秋葉 絵美 (3年) (4名グループ)
- 米澤 寛喜 (3年)
- 伊藤 肇 (3年)
- 中川 匠 (3年)
- 真岩 小夜子 (3年)

- 松田 智彦 (3年) (5名グループ)
- 原田 潤 (3年)
- 本間 直樹 (3年)
- 岡田 実 (3年)
- 岩間 恵里佳 (3年)
- 野尻 航平 (3年) (5名グループ)
- 橋本 満 (3年)
- 中根 大介 (3年)
- 吉村 勇太 (3年)
- 高石 知希 (3年)
- 大杉 直人 (3年) (5名グループ)
- 佐藤 岳志 (3年)
- 池本 裕香 (3年)
- 臼澤 直樹 (3年)
- 白川 正雄 (3年) (4名グループ)
- 嵯峨 祐太 (3年) 【特別奨励賞】
- 瀬戸 響 (3年)
- 前田 茜 (3年)
- 山口 和哉 (3年)
- 秋場 健介 (3年) (5名グループ)
- 松村 健介 (3年)
- 内山 なつき (3年)
- 田村 寿典 (3年)
- 谷崎 敬三 (3年)
- 井上 大輔 (3年) (5名グループ)

### 《名寄工業高等学校》(33作品33名)

- 後藤 亜珠香 (3年)
- 大島 理絵 (3年)
- 高橋 拓郎 (3年)
- 小川 明寛 (3年)
- 佐々木 真理 (3年)
- 高嶋 秀憲 (3年)
- 川田 由香里 (3年) 【特別奨励賞】
- 沖田 恵則 (3年)
- 翁 彰謙 (3年)
- 橋本 智 (3年)
- 加藤 俊仁 (3年)
- 高橋 広揮 (3年)
- 小林 聡子 (3年)
- 三浦 昇 (3年)
- 青木 ひとみ (3年)
- 渡部 剛史 (3年)
- 千田 竜介 (3年)
- 山田 孝宏 (3年)
- 渡邊 大介 (3年)
- 横澤 陵太 (3年)
- 齋藤 親 (3年)
- 中島 智 (3年)
- 佐川 啓二 (3年)
- 桑原 大輔 (3年)
- 木村 貴稔 (3年)

平成9年度高校生建築デザインコンクール応募者一覧

- 高見 慎一 (3年)
- 竹中 育美 (3年)
- 瀧美 貴広 (3年)
- 荒田 小百合 (3年)
- 市橋 裕康 (3年)
- 伊藤 真 (3年)
- 佐藤 えり子 (3年)
- 佐藤 年弘 (3年)

《留萌工業高等学校》(5作品5名)

- 能崎 礼衣子 (3年)
- 神田 秀幸 (3年)
- 川上 泰代 (3年)
- 大隅 圭太 (3年)
- 成田 直幸 (3年)

【特別奨励賞】

《北見工業高等学校》(4作品17名)

- 芳賀 広幸 (3年)
- 菊地 秀典 (3年)
- 斉藤 将志 (3年)
- 赤松 学 (3年) (4名グループ)
- 大谷 誠 (3年)
- 太田 元宏 (3年)
- 高野 純 (3年)
- 丸山 さつき (3年) (4名グループ)
- 佐藤 圭一 (3年)
- 藤井 大介 (3年)
- 荒島 直也 (3年)
- 須貝 公一 (3年)
- 熊谷 和明 (3年) (5名グループ)
- 篠原 裕介 (3年)
- 東 照之 (3年)
- 田島 博光 (3年)
- 野崎 兼太郎 (3年) (4名グループ)

【特別奨励賞】

【優秀作品賞】

《帯広工業高等学校》(4作品6名)

- 山崎 友理 (3年)
- 渡辺 幸恵 (3年)
- 向山 奈美 (3年) (3名グループ)
- 佐藤 隆史 (3年)
- 福嶋 康浩 (3年)
- 曾我 玲香 (3年)

【佳作】

【優秀作品賞】

《室蘭工業高等学校》(8作品8名)

- 山本 樹 (3年)
- 渡辺 祐二 (3年)
- 杉山 晃一 (3年)
- 清水 雅史 (3年)
- 廣内 崇史 (3年)
- 山田 大介 (3年)
- 宮武 真也 (3年)
- 宮入 真 (3年)

【優秀作品賞】

《苫小牧工業高等学校》(11作品11名)

- 奈良 優春 (3年)
- 河内 絵美 (3年)
- 神田 宣孝 (3年)
- 本間 希美 (3年)
- 新岡 輝樹 (3年)
- 氏井 俊介 (3年)
- 五十嵐 淑啓 (3年)
- 村上 友紀 (3年)
- 小西 久美子 (3年)
- 只野 敬子 (3年)
- 中澤 祐介 (3年)

【佳作】

計 99作品 148名

学校別 応募作品数一覧

高校名	応募作品数
札幌工業高等学校	18
函館工業高等学校	4
小樽工業高等学校	1
美唄工業高等学校	3
旭川工業高等学校	8
名寄工業高等学校	33
留萌工業高等学校	5
帯広工業高等学校	4
室蘭工業高等学校	8
苫小牧工業高等学校	11
北見工業高等学校	4
計	99

発行 北海道建設部建築整備室計画調整課  
 札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館4階  
 TEL 011-231-4111 内線29-863  
 印刷 谷川印刷株式会社

平成10年2月発行